

# 事業の概況

## IT投資は持ち直し傾向

当連結会計年度(2011年1月1日～2011年12月31日)におけるわが国経済は、当初回復基調で推移していましたが、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱や原発事故発生による電力不足から、生産活動の低下や自粛ムードが起こり国内経済に大きな影響を及ぼしました。このサプライチェーンの問題は徐々に解消に向かいましたが、電力不足問題は依然として継続しています。また年後半には、タイ洪水被害の影響で一部業界において部品などの供給問題が発生しました。一方、新興国の経済成長や米国経済の回復を背景に順調であった世界経済は、欧州の財政問題や米国経済の停滞により先行きが不透明となり、一層の円高や株安などが起こりました。

以上のような経済状況にあって国内企業のIT投資は、多くの企業が慎重な姿勢をとるもののシステムの更新や節電対策、BCP(事業継続計画)構築、タブレット端末の活用などによる新たな需要が発生し、持ち直しの動きが出てきました。

## コスト削減、生産性向上につながる提案

このような環境において当社グループは、「お客様の信頼に応え、ITでオフィスを元気にする」を2011年度のスローガンに掲げ、お客様との接点を強化しコスト削減、生産性向上、競争力強化につながるシステム提案を積極的に行いました。また複数の製品やサービスを組み合わせたパック商材の整備・拡充、魅力ある保守サービスの開発などストックビジネスの充実

### 外部環境

国内景気は緩やかに持ち直し傾向

世界経済は弱い回復、欧州の債務危機、金融不安  
輸出は弱含み、円高継続、株安、金利は横ばい  
生産は緩やかに持ち直し傾向、電力供給懸念  
倒産件数は横ばい  
設備投資は持ち直し傾向

IT投資は持ち直し傾向

### 当社グループの取り組み

コスト削減、生産性向上、競争力強化につながるシステム提案

お客様接点の強化、フロントライン強化

「全員参加型」の活動

ストックビジネス強化、「たのめーる」、「たよれーる」

BCP対策、電力使用量削減の提案

被災地への支援

を通じて、お客様と安定的かつ長期的な取引関係を構築することによる収益基盤の強化を図りました。

さらに震災後は、被災機の代替機貸し出しや一部サービスの無償提供により被災地企業を支援するとともに、新たなIT需要に応えるための節電対策ソリューションやBCPソリューションの提案を行いました。

### 増収、二桁の増益

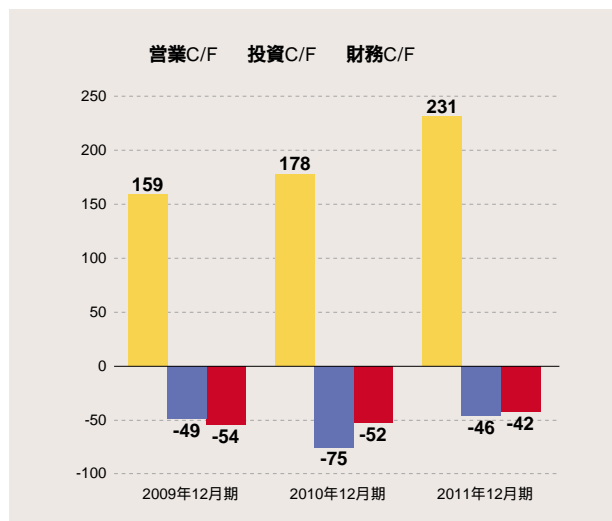
以上の結果、当連結会計年度の売上高は4,782億15百万円(前年同期比3.2%増)となりました。利益につきましては、売上総利益率の改善と販売費及び一般管理費のコントロールにより、営業利益230億95百万円(前年同期比21.5%増)、経常利益233億15百万円(前年同期比19.5%増)、当期純利益127億44百万円(前年同期比19.9%増)となりました。

(単位:百万円)

	2010年12月期	2011年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	463,493	<b>478,215</b>	+3.2%
営業利益	19,013	<b>23,095</b>	+21.5%
経常利益	19,508	<b>23,315</b>	+19.5%
当期純利益	10,631	<b>12,744</b>	+19.9%

### キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)



営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の増加、たな卸資産の増減額が良化したことなどにより231億58百万円(前年同期比53億6百万円増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、建て替えを行っていた横浜ビルが当連結会計年度に竣工したことなどにより46億4百万円(前年同期比29億23百万円減)となり、財務活動によるキャッシュ・フローは、42億29百万円(前年同期比9億76百万円減)となりました。

## 四半期別の概況

### 売上高の推移

売上高は、第1四半期(1~3月)においては、前年同期の学校ICT環境整備に伴う需要の反動や震災の影響により減収となりましたが、第2四半期(4~6月)以降は、増収となりました。

2011年第3四半期(7~9月)売上高は、1,107億45百万円(前年同期比 5.8%増)となり、2011年第4四半期(10~12月)売上高は、1,183億26百万円(前年同期比 3.3%増)となりました。

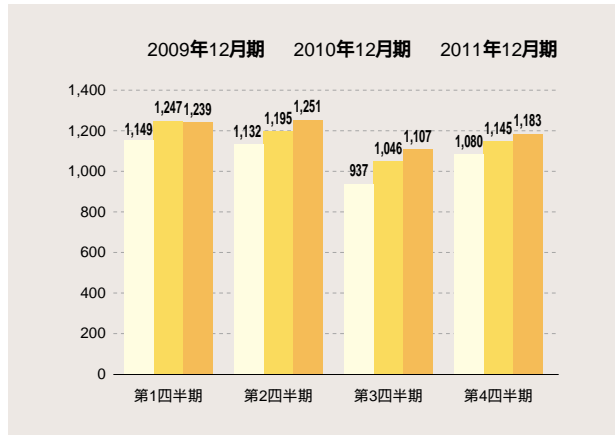
### 経常利益の推移

経常利益については、第1四半期(1~3月)においても増益を確保し、各四半期とも増益となりました。

2011年第3四半期(7~9月)経常利益は、36億29百万円(前年同期比 72.7%増)となり、2011年第4四半期(10~12月)経常利益は、53億81百万円(前年同期比 10.3%増)となりました。

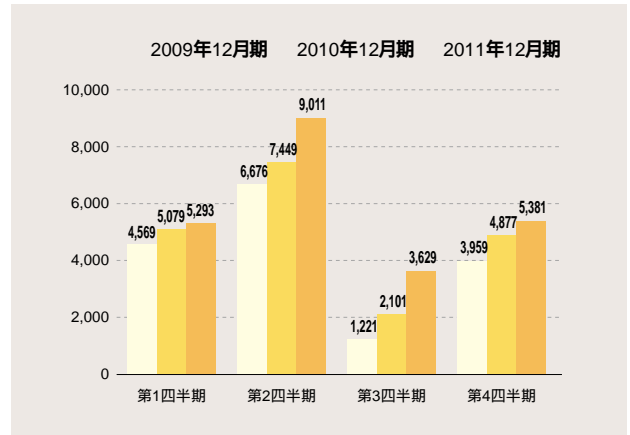
売上高の四半期推移

(単位：億円)



経常利益の四半期推移

(単位：百万円)



## 事業セグメント別の概況

### システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、東日本大震災とタイ洪水被害による影響もありましたが、企業におけるシステム更新需要やIT投資に積極的な企業の需要を掴み、パソコンやサーバ、複写機等の販売台数を伸ばし、売上高は2,625億8百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

### サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、震災後の計画停電や自粛ムードの影響を受けた商品やサービスもありましたが、オフィスサプライ通信販売事業「たのめる」を堅調に伸ばし、保守等についても微増となり、売上高は2,145億76百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

### その他の事業

その他の事業では、売上高は11億30百万円(前年同期比41.8%減)となりました。

### 事業セグメント別の売上高推移

(単位:百万円)

